

「2年生 原爆講演会」

広島文化センターより被爆体験伝承者の細川さんにお越しいただき、講演会を開催しました。大人に代わり若者が軍需工場で働いていた現状や、原爆孤児として親にも看取られることなく亡くなっていく若者の話など、自分たちと同世代の若者が当時おかれていた現状を聞き、今の自分たちの生活のありがたさを実感しました。細川さんは最後に「過去の事実を知り、今を見つめ、未来の自分を思い描く」ことが大事であると仰いました。この話を聞くことがゴールではなく、ここから自分たちに出来ることを考えていくスタートにしていこうという決意を固めた講演会になりました。



【生徒の感想】

知らないこともたくさんあってびっくりしました。これを修学旅行に生かしていきたいと思います。

平和とは戦争だけではなく、差別も関わっていることを知りました。

細川文子さんの話を聞いて、私は「この話は本当なのかな」と疑うくらい恐ろしくて、怖い気持ちでいっぱいでした。長崎の原爆資料館に行って、しっかり当時の様子を確認しようと思いました。